

希望に抱かれて 第七
コロサイ人への手紙 2:16-23
ジェイミー・リリー
2024年・3月・17日

おはようございます、みなさん!

本当に充実した日曜日でした。そして、ここ B4教会 では本当に充実した 2 週間を過ごしました。

初めての方は、私の名前はジェイミー・リリーです。成人向けミニストリー チームの牧師の 1 人です。私が参加しているミニストリーのいくつかについては、後ほどお知らせしますが、今はコロサイ人への手紙を読み進めているところだということだけは知っておいていただきたいと思います。今朝は早速始めませんか。

”だから、あなたがたは、食物と飲み物につき、あるいは祭や新月や安息日などについて、だれにも批評されてはならない。これらは、きたるべきものの影であって、その本体はキリストにある。あなたがたは、わざとらしい謙そんと天使礼拝とにおぼれている人々から、いろいろと悪評されてはならない。彼らは幻を見たことを重んじ、肉の思いによっていたずらに誇るだけで、キリストなるかしらに、しっかりと着くことをしない。このかしらから出て、からだ全体は、節と節、筋と筋によって強められ結び合わされ、神に育てられて成長していくのである。もしあなたがたが、キリストと共に死んで世のもろもろの霊力から離れたのなら、なぜ、なおこの世に生きているもののように、「さわるな、味わうな、触れるな」などという規定に縛られているのか。これらは皆、使えば尽きてしまうもの、人間の規定や教によっているものである。これらのことは、ひとりよがりの礼拝とわざとらしい謙そんと、からだの苦行とをとともうので、知恵のあるしわざらしく見えるが、実は、ほしいままな肉欲を防ぐのに、なんの役にも立つものではない。”

コロサイ人への手紙 2:16-23 口語訳

さあ、開梱すべきものがたくさんありますね。

その一-

これは教会、つまり初期の教会にとっての移行期です。パウロはコロサイの教会に、イエスが来られ、死に、そして復活された今、何をすべきかを教えています。初期の教会のこの段階全体が、古いやり方から新しいやり方への移行期です。

彼らは、申命記からコロサイまで、十戒、レビ記の律法、確立されたユダヤ文化、そして何世代にもわたる伝統をそのまま踏襲しています。彼らは、テンプレートなしで、何を残し、何を捨てるかを決めようとしています。

これらの慣習の詳細に立ち入ることなく、宗教的慣習は神と出会うためのスペースを作ろうとする人類の最善の試みであることを知っておく必要があります。私たちはしばしば、合法性や誰が参加して誰が参加しないかの厳しい線引きに踏み込む宗教の最悪の部分に強調します。それは空虚な宗教です。物事は悪い始まりから始まるのではなく、人々が他の人を助け、神を知りたいと思うことから始まります。

私はここでパウロが話している慣習を、ある口調で読みました。彼がこう言っているのを想像します。「よし、友よ、これらの古い方法は、必要な間はうまくいった。私たちは従順で、神の声を聞き、

霊的な生活を私たち自身の生きている存在の積極的な側面にした。これは良いことだった。しかし(17節)、これらはこれから起こることの影だった。それらが表していたことは実現した。新しい生活に移る時だ。」

本当のキッカーはこれです: キリスト教徒は、1. それらのことが神に近づくことにつながると考えない限り、コーシャ食品を食べ、安息日を守るといったことに参加することが許されていました。なぜでしょう? キリストの認識は、イエスが神への唯一の道であることを意味します。2. それらの習慣をやめるとまだ決めていない他のキリスト教徒を裁いてはいけません。私たちは形式、構造、テンプレートに縛られがちです。私たちはそれらを本物と勘違いしています。

それが私たちを頭から切り離すのです。
私たちはテンプレートに頼ります。それが安全だからです。
パウロはキリストに忠実であれば十分だと言っています。それだけです。

その二

この変化は、単なる世界規模のコミュニティの変化ではありません。それは、アイデンティティの変化を求める呼びかけでもあります。

これは聖書に共通するテーマです。旧約聖書と新約聖書の至る所でアイデンティティの変化が見られ、それが私たちの精神形成にとって重要なことのヒントとなります。私には、パウロは私たちの信念がアイデンティティに与える影響のパターンを指摘しているように思えます。おそらく、さらに一歩進んで、私たちの行動が私たちの信念を明らかにし、私たちがどのような人間であるかを形作るのです。

パウロはこの箇所ですべての共同体に向けて話していますが、そこから私たちが読み取れる原則的な流れがあります。

パウロは、以前の慣例に固執することがキリストにおける人のアイデンティティにどのような影響を与えるかを明らかにしているのでしょうか。

1月に私たちの友人オナジェが礼拝を導き、B4教会のために主から言葉を受け取りました。私たちはそれが主からの言葉であると信じ、忠実にそれを実践したいので、このことについてよく話してきました。

彼はこう説明しました。「砂漠の砂だった地面を、主は土に変えておられます。昔からの種、この家の昔からの言葉は忘れ去られていません。しかし、新たな土台が強化されています。砂漠の砂だったものが肥沃な土に変わり、種が根を張り、実を結んでいきます。この家には庭の季節が移り変わっています。」

彼は続けますが、正直に言うと、私は最初の数行で止まってしまいます。頭の中でこのシーンが展開するのを見ながら、私は思いました。ちょっと待って。砂と土は同じではない。私にとって、この変化が何を意味するのか理解せずに庭の季節にすぐに移行することはできませんでした。砂はどうやって土に変わるのでしょうか?

結局、それは可能であり、プロセスであることがわかりました。今日はそれについては触れませんが、私たちが理解する必要があるのは、変化があるということです。この言葉を聞き逃さないください。主が砂を土に変えているのです。あなたが砂であると想像してください。神があなたとともに座り、あなたを何か新しいものに変えているところを想像してください。新しい、強化された基盤です。

これが霊的形成です。パウロがほのめかしているのはこれです。宗教で私たちが直面する問題は、私たちのエネルギーが私たちの存在ではなく、私たちの行為に集中してしまうことです。霊的成熟とは、どれだけ努力しても自分自身を変えることはできないと知ることです。それは神の愛に依存し合うプロセスであり、自分自身の力では変革をもたらす愛を生み出すことはできないと知ることです。

初期の教会はこれを経験しました。コロサイ人への手紙の中でパウロが語っているのも、私たちはそれを知っています。そしてそれ以来、教会は変化を続けています。どのようにでしょうか？

変革の中心にあるのは具現化です。

詩 21:「触ってはいけない！ 味わってはいけない！ 触ってはいけない！」ああ、感覚とは、私たちが霊的なものを知り、それに関与する方法です。これが具現化です。霊的なものの中に潜在するものを、肉体の中に実現することです。

私たちの感覚は使用すると消えてしまう運命にあるため、この文章の冒頭にある「したがって」を認識しなければなりません。

それは、聴衆を十字架上のイエスの勝利に結びつけることです。イエスがしたことので、十字架上でキリストが打ち負かした力の支配下に再び身を置くのは愚かなことです。パウロは、古い律法の具体化は新しい契約の具体化のように見えないと言っているのがわかります。私たちの神は新しい方法で動いています。

庭づくりの季節に入るには、砂から土へと移るときに主が私たち一人一人に行う必要のある個人的な変化と癒しに進んで従わなければなりません。

私たちは、最終的に枝にとどまり良い実を結ぶブドウの木に成長する種子を育てる土壌となるために、この変革のプロセスに全力を尽くすことができますか？ 神が私たちに成長を呼びかけているように、私たちは成長するために従えますか？

B4教会 がイエスとの関係を築くためのスペースを作るために最善を尽くしている方法を皆さんと共有したいと思います。
さまざまな方法でイエスに「はい」と言った人々の物語をいくつかお話しします。皆さんもその物語の1つに共感し、何か行動を起こすきっかけになればと思います。

アルファ: ここは、あなたの疑問や疑念についてオープンに話し合うための場所です。「えー、私は日常のカテゴリーに足を踏み入れた」という気持ちが湧いてきたら、アルファに来てください。このラウンドが、自分の信念を両手を広げて抱いている人たちでいっぱいになるのを見たいで

す。このラウンドが、あなたが長年抱いてきた信念を真剣に深く掘り下げ、何を学び、何を忘れるべきかを主に尋ねる場になればいいと思います。私はいつもこれを実践しています。私は小学3年生のときにイエスに「はい」と言いました。私は20年間イエスに従ってきましたが、これが私の心を生き生きと保つ方法だと断言できます。アルファの多くの人は、この両手を広げた姿勢をとっています。

アルファの最後は、参加者に経験を共有してもらおうお祝いディナーです。ここにいくつか例を挙げます：

- 最初の集まりの後、私はとても場違いに感じました。自分のテーブルにどう溶け込めばいいのかわかりませんでした。しかし、数週間が経つにつれて、その気持ちは変わりました。私は新しい友情を築き、いわば家族になりました。実際、私は自分のテーブルだけでなく、夫のテーブルとも関係を築いていました。私は2倍の祝福を受けていました。夕食とデザートもいただいたことは言うまでもありません。私を個人的に知っている人なら、私の過去が喪失と悲しみのつらいものであったことを知っているでしょう。私は自分の価値を信じるのに苦労しています。同じテーブルの他の人たちが私と信仰を分かち合ったとき、私は自分がまさに神が必要としている場所にいると分かりました。しかし、夫が神に信仰を委ね、テーブルリーダーと一緒に祈ってくれるよう頼むのを見たことが、私にとって間違いなく最大の収穫でした。私は誰もが信仰を捨てて、愛する人と一緒にアルファを試してみることを勧めます。なぜなら、あなたたち2人とも励まされ、成長するからです。
- アルファを経験することで、私は完璧なクリスチャンである必要はないということがわかり、信仰が成長しました。神は私が毎日ありのままの姿で現れることを望んでいることを学びました。神は私のいい加減な祈りを聞きたいのです。神は私が毎日、たとえ5分でも神の言葉に時間を費やすことを望んでいます。神は私が自分の苦悩や疑問を神のもとに持ち込むことを望んでいます。また、人生が順調に進んでいるときに神のもとに来て、神を賛美することを望んでいます。私は神が私との関係を望んでいることを知っています。そして、パートナー、友人、親、子供など、関係を持ったことがあるなら、関係は完璧ではないが、現れてありのままの自分であり、毎日より良くなろうと努力することで築かれることを知っているでしょう。関係は、人生の良いことも悪いこともすべて伝えることで築かれます。お互いに愛を示すことで築かれます。愛は神が私たち全員に与えてくれたものであり、美しく無条件の愛です。
- 私はクリスチャンとして育ち(教会に出たり入ったりはしましたが)、キリストが十字架で人類のために死んだとずっと信じてきました。私たち全員のために...。彼が私のためだけに死んだとは、100万年経っても思いつきませんでした。そのことに気づいたことで、彼との個人的な関係は可能だという考え方を理解できるようになり、それが何を意味するのかをより深く理解するようになりました。そして、グループに参加して以来、(毎日ではありませんが)より一貫して祈りの文章を読み、祈りのゲームを本当に強化しました!!! 私の才能ではありませんが、今では約90秒祈ることができます(笑)。私に起こった最も奇妙なことは、先日の夜に「会話」をしていたときに「愛している」という言葉が口をついて、やり過ぎたかのように一時的に恐怖を感じたことです。でも、それは良いことだと思いますか？
- アルコール依存症から完全に解放された男性、つまりペンテコステ派の意味で解放された男性がいました。ご存知のように、体がアルコール中毒になっている場合、いきなりやめることは不可能です。体への影響を考えると、実際にはゆっくりとやめる必要があるのです。この男性は、副作用もなくいきなりやめました。彼は毎週のように戻ってきて、7日間断酒、14日間断酒、21日間断酒したと宣言しました。
 - 別の女の子は、20年前に赤ちゃんを亡くし、それ以来赤ちゃんを抱くことができなかったという話をしてくれました。アルファの過程を通して、主は彼女の心の奥深くの傷ついた部分を癒し始めました。彼女は20年ぶりに赤ちゃんを抱くことができました。

- そして、ある女性は祝賀ディナーで、自分がいかにして非常に内気で内向的であるかを話しました。彼女がステージに立っていたことは、彼女と彼女が築いたコミュニティにおける聖霊の働きの証でした。

これらの物語は、人々が厳しい質問をし、自分の信念を吟味することによって、主が皆さんの周りの人生の中でなされている大小さまざまな出来事についての物語です。

皆さんがこれらの話を聞いて、「もし私がイエスにすべてを捧げたら、私の人生はどうなるだろう？」と自問してくれることを願っています。洗礼は、イエスの信者として私たちが参加する儀式であり、神との関係を象徴しています。私たち自身の死から生への物語です。それは、私たちが肉体的に参加し、内なる現実を表すものです。私は救われ、清められ、赦され、任命されました。B4では、洗礼を受ける前に一人ひとりと会い、証しを分かち合い、決断の霊的な導きを受けられるようにしています。長年にわたり、私は非常に多くの人々と会うことができました。ここに、私のお気に入りの洗礼の物語をいくつか紹介します：

- 私たちの教会の80歳を少し超えた男性が私に会い、子供のころはイエスを知っていたものの、その後70年間イエスに反応せずに生きてきたという話をしてくれました。彼は私に、洗礼を受けるには年を取りすぎているのかと尋ねました。私はびっくりしました。「何だっ？！そんなわけないよ！」と。次のラウンドで彼に洗礼を施すことになったのです。
- 夏の間、私はアルファリーダーの一人に洗礼を施しました。私はコミュニティプールで彼女と彼女の婚約者（現在の夫）に会いました。私たちが彼女の洗礼を祝って水の中にいたとき、彼は「僕も今洗礼を受けるべきだと感じる」と言いました。それで私たちはそれについて話し、それが神の霊が語っていると感じたので、私も彼に洗礼を施しました！
- 昨年の夏、私たちは中庭で夏の洗礼式を行いました。小学生の女の子の一人が水の中にいるとき、彼女は怖がっているように見えました。ジェナ牧師と私は彼女に大丈夫かと尋ねました。私はいつも、水の中にいるときでも今は適切な時期ではないと判断できると人々に言っています。彼女は大丈夫だと私たちを安心させ、聖霊の力が彼女を圧倒しているのを感じたと言いました。その空間にいるのはとても純粋で興奮したことでした。

最近、あなたは主の御声に熱心に耳を傾けましたか？ 神様はあなたに何を語りかけていますか？ まだ洗礼を受けていないなら、今日、主からの招きを感じていますか？ よくわからないなら、それについて話しましょう！

イースターがもうすぐそこまで来ています。私たちはたくさんの新しい人々や新しい家族が来ることを期待しています！これは、この家に人々を迎え入れる際に、おもてなしと寛大さでチームを組む機会です。イースター奉仕は、これを実践する方法です。イースターにチームに参加することはすべての人への招待ですが、特に、つながりを築くのに苦労している家にいる皆さんにお話したいと思います。チームに参加することは、B4でつながりを築くための最良の方法です。私たちは、ボランティアを日曜日の役割を満たすことだけとは考えていません。仕事に参加することは、あなた自身の人生とあなたが奉仕している人生におけるイエスの使命へのあなたの献身を表しています。これが今日のあなたの行動ステップであるかどうかを決めるのに役立つように、あなたがイエスにイエスと言ったときのこと、そしてそれ以来あなたの人生がどのように変わったかについて考えてほしいと思います。あなたの良い知らせは何ですか？ あなたの人生は神の愛に満ちていますか？ そして、ここは愛から愛へと愛を行動するあなたの場所でしょうか？

おそらく、これらのどれにも共感できないか、時期が早すぎると感じているのでしょう。数週間後に、K-5 デイ キャンプの登録を開始します。その前に、チームを編成する必要があります。具体的に

は、さまざまな役割を果たすボランティアが 100 人必要です。彼らは私がこれを行うことを望んでいませんでしたが、比率と適切な管理のため、子供のスポットの数はボランティアの数に依存します。昨年、私は 3 年生の小グループのリーダーを務めました、とても楽しかったです。私の共同リーダーは、私が知り合い、心から愛するようになった素晴らしい高校生の 1 人でした。これについては今後数週間でさらにお話ししますが、登録や質問のためのテーブルが共用スペースにあります。

私が皆さんにこれらの物語を語るの、皆さんが神を身の回りのあらゆるところに見出すようになってほしいからです。私が語る物語、一節の解釈は、私の特定の状況と私が持ち込むすべてのものから来ています。ここにいる誰かがすべての答えを持っていると考えるのはやめましょう。それが宗教です。しかし、皆さんが周囲の人々の人生の変化の物語を聞くとき、愛が聞こえますか？皆さんに意図的に名前を挙げなかったのは、皆さんが私たちの身の回りの愛の物語はどんなものか、そして皆さん自身の人生に書かれた愛の物語はどんな優しいものかを考え始めてほしいからです。

今私が述べたことの1つがあなたの中に否定的な感情を引き起こすなら、それをしないでください。しかし、どうか時間を取って主に耳を傾け、その答えが何であるかを受け入れる心構えを持ってください。

皆さんが応答する時間を取っている間に、バンドが曲を演奏します。私たちは通常、皆さんに礼拝や祈りをお願いしています。メッセージに応じて、何らかの内なる作業に取り組んでください。今日は、皆さんが携帯電話をお持ちであれば、それを取り出して、これらのうちの 1 つにサインアップしていただきたいと思います。画面には、各オプションへのリンクを含む QR コードが表示されます (複数選択できます)。今日、主からの招待に応じて、実際に一歩踏み出しましょう。イエスは私たちを宗教から解放し、人間関係へと招いています。イエスは、皆さんのために、ご自身と周囲の人々と共に充実した人生を歩むようにとお考えです。

*画面上のQRコードによる応答時間

祝祷:

砂を土に変えてくださる神の変革の愛に従う人々でありたいと願っています。主が植えたい新しい種に備えて、期待と想像力をもってこの新しい庭の季節を迎える人々でありたいと願っています。